

あきる野市 平成17年(2005)3月31日 第6号

町・自連会報

発行/平成17年3月31日 発行者/青木旦治 編集/あきる野市町内会・自治会連合会会報部会



あきる野市町内会・自治会連合会長 平成17年「年頭あいさつ」要旨

新年明けまして、おめでとうございます。

昨年、十回に及ぶ台風の襲来。その都度心労の多かった年でありました。本年は、災害等のないことを願いたいものです。

昨年から引き続きIT部会をたち上げ焦点を書式のFDによる統一を目ざして、二月から七地区ではじめます。

本年は、市制施行十周年。あきる野市安全・安心まちづくり条例が一月一日施行されました。東京都では、平成十四年刑法犯罪三十万件をピークに平成十五年は二五〇〇件、平成十六年は一五〇〇〇件減、平成十七年は更に減少を目ざし、治安回復の年として犯罪の抑止に向けて努力しています。

あきる野市安全・安心まちづくり条例の施行を契機に、町内会・自治会内での犯罪の抑止にいつそのご協力をお願いしたい。

(土士田)

福島県郡山市「安積町」自治会長 埼玉県大里郡妻沼町区長会

あきる野市が誕生して、平成十七年九月で十周年を迎えます。さきがけて合併した「あきる野市」には、全国多くの自治体から視察が訪れていると聞きます。

町内会・自治会連合会も昨年十一月八日に、安積町自治会長会との研修を行いました。議題は、会報誌についての意見交換でした。町・自連会報は自治会・町内会情報誌「まちむら」No.85で町内会・自治会が独自で発行していることが紹介された経緯がありますが、町内会・自治会・会員への情報還元のための媒体として、同質・同量の情報を広く提供するために発行するものですが、共通して悩むことは、会報誌を発行しても読んでもらえるか、ということに結論づけられ、永久の課題にしてより、読み易く親しんでもらえる会報誌づくりに努力するという結論に到達しました。

十一月三十日、埼玉県妻沼町区長会役員研修会が行われました。

妻沼町は、埼玉県最北端、利根川の両岸に分布する地域です。

平成十七年十月一日をもって妻沼町、大里町が熊谷市と合併し、人口十九万五千余人の新しい「熊谷市」となりますが合併時は、現行どおりとして自治会、区長会で協議し、十八年度を目途に名称を自治会として統一できるよう協議、調整がなされます。

新たな名称自治会の基に、地域共同体として親睦事業・災害・防犯等の共同活動、行政からの伝達、地域からの要望等、市も大きくなり、協議して名称の統一をして、新しい誕生で大きな新熊谷市の一翼を担うのも名称統一した自治会の大きな役割等、意見交換がされました。

(土士田)

あきる野市町内会・自治会連合会役員会協議事項

- 平成十六年 十月二十七日
 - 十七年新年懇親会の日程について
 - 十一月度役員会・役員懇親会の日程について
 - IT調査部会の今後の活動方向について
 - 郡山市、妻沼町からの視察研修担当者の対応について
 - 十一月三十日
 - 新潟県中越地震被害地義援金送付の件
 - 十七年新年会の仕様について
 - 平成十七年 一月十四日
 - 十七年新年懇親会について
 - 連合会全体会開催について
 - IT講習会の課題について
 - 日帰り研修会について
 - 二月十五日
 - 十七年度定例総会の準備日程について
 - 三年度役員会の開催について
 - 日帰り研修会の開催について
- 二月二十三日 町内会・自治会全体会
 - IT部会、会報部会経過報告
 - 十七年度町内会・自治会連合会定期総会について
 - 日帰り研修会の実施について
 - 十七年市民スポーツレクリエーションの一部対応について
 - 三月二十五日
 - 十七年度連合会定期総会の準備日程の確認
 - 十六年度連合会会計仮決算について
 - その他



西伊奈自治会の防犯活動

武蔵増戸駅を擁す森の下自治会と、隣接する北伊奈・西伊奈の三自治会は、連携して防犯活動を展開しています。

昨年には防犯幟り旗を共同購入し地域の道端ではためかせている。十月にはJA増戸支店から日の出団地入口までの約五百メートル間を合同で約百名が参加して、幟を掲げた防犯パレードを行いました。また防犯活動推進員を中心に地域住民の防犯意識の高揚を図るためパトロールの強化に努めています。

特に西伊奈自治会は、五日市防犯協会山田支部活動に参加すると共に、独自の防犯活動として毎月十五日を防犯意



防犯パトロール



識高揚日と定め、この日は「本日は防犯強化の日」の幟を各所に掲げアピールを図ると共に防犯活動推進員が夜間パトロールを行ってきました。

昨年七月には自治会員によるパトロール隊が発足し、月三回の夜警巡回を行い、延百六十五名が協力し、防犯パレードには三十二名の参加がありました。八月には、子供会が夏休み体験夜間パトロールを元気に行う等、防犯環境が整いつつあり、お陰で本年は、現在まで犯罪被害件数ゼロを保っています。

(自治会長 篠崎定吉)



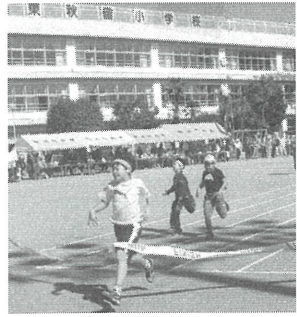
編集後記

猛暑、台風、水害、地震等大きな災害に見舞われた昨年の日本列島。この冬は十七年ぶりという豪雪で被害が出ている裏日本。災害は「時」と「処」を選ばない。心しておくべきだと思う。

地球温暖化の要因とされる温室効果ガス(二酸化炭素)の排出削減目標を定めた京都議定書が二月十六日発効した。

今日の自然災害をもたらす異常気象は、地球温暖化が原因といわれる。市民も行政も企業も真剣に考えるときだと思う。

第六号の会報発行に向けて編集会議が開催された。「会報はあまり読まれていないのでは」と言う共通認識に立って話し合った。それぞれに思いはある。連合会の会報である。かたちも制約もある。面白さだけの追求もできない。多くの方に読んで頂ける為に編集委員の悩みは続く。ご意見頂ければ幸いです。(森田)



運動会

四月の役員総会によって年

町内会の役割は、会員相互

から南は秋川までの一帯が野

町内会・自治会紹介

度事業計画が決定します。

定期的な正・副会長及び運

し、事前準備を含めて事業を

進めているところとす。

近年の社会生活において、

に協力し合い、助け合い信頼

できる地域社会を築いていく

ため、マンモス世帯の野辺町

内会がコミュニケーションづ

「人の和」で自治会を！

我が高尾自治会は、五日市

地区の東の端に位置し、昭和

三十年代頃迄は、五日市梅林

として知られ親しまれ、町民

のみならず、都民の憩いの場

として、大勢の目を楽しませ

て来ましたが、時代の流れで

各所で都市化が進み、今では

その面影すら見る事は出来ま

せん。当時の高尾は、二十五

軒位の世帯でしたが、現在で

は、三百世帯を超して五日市

地区では、小中野自治会に次

ぐ大世帯となりました。家が

増え初めた頃は、新しい人達

をどう受け入れ、また新しい

人達はどう馴んで行けばよい

のか、互いに試行錯誤といっ

た状態でしたが、新旧が互い

に前向きに話し合い、古き良

きものは残しつつ、新しきを

取り入れ、規約等も整備し直

して、先輩の皆さんのお陰で

現在の自治会が出来上がりま

した。

現在の自治会の運営は、役

員五名、各ブロック選出の理

事十名で執行しており、その

他、隣組々長二十二名が、各

仕事を分担して行っています。

また、自治会の公認団体

(趣味の会)が八団体あり、

祭りや、レクリエーション、

資源回収等の行事の手伝いを

担当してもらっています。

自治会の主な行事に、神社

役員を中心として行われてい

る獅子舞があり、これには、

保存会、小中学生が頑張っ

て伝統を守っています。祭りに

は、「村廻り」と称し、小中

学生が担ぐ万灯を先頭に、獅

子、花笠、子供神輿等それ

は、賑やかに行われていま

す。

また、その他に、一昨年

「西の風」でも紹介され一寸

とした話題となった「高尾文

化祭」があります。日頃皆さ

んが趣味で作った作品を持ち

寄り、展示するものです。会

場には、香が焚かれたり、琴の

調べが流れるなど凝った演出

が施され、訪れる人の目を楽

しませています。これには、

会員の隠れた才能を発見さ

せ、皆さんに見てもらい、ま

たおしるこや甘酒をすすりな

がら、大いに語り合い、その

中から会員相互の親睦が深め

られればと始めました。皆さ

んも、機会がありましたら是非

一度にお立ち寄り下さい。

これからも、新しい事に挑

戦し会員が明るく、楽しくま

た活気溢れる自治会を目指

し、努力していく所存です。

(自治会長 土屋 訓)

計報

松崎利一氏(草花住宅

自治会長)三月二日逝去

されました。

謹んでご冥福をお祈り

申し上げます。

高尾文化祭

高尾文化祭

高尾文化祭

高尾文化祭

I T 部会 報告

部会長 小室 秀夫

◆ 先ずは意識調査

連合会のIT化については

◆ アンケートの実施

IT調査部会は、全町内

平成十六年度は、連合会の

調査結果については、「別

別表 全項目は紙面の都合で記載ができません。

- 1、市役所へ提出の補助金申請書類の作成は
手書き38(49) ワープロ13(19) パソコン38(21)
2、市役所へ提出の予算書・決算書等添付書類の作成は
手書き24(27) ワープロ 8(20) パソコン49(43)
3、貴町内会・自治会では会の業務に使えるパソコンを役員が所持ですか
はい69(61) いいえ10(18)
4、貴町内会・自治会役員の中でパソコンを使える方がいますか
はい78(72) いいえ3(5)
5、研修会を開催した場合貴町内会・自治会で会長・役員のうち誰が参加しますか
町内会・自治会長自身 37(34)
役員のうち誰かを参加させる 36(37)
※ 上記アンケートの集計結果を分析IT部会では、早速行政当局と書式の整合性・講習会場の折衝・準備を行っています。
※ () 内の数字は、前回アンケート結果。



二十件ありました。今後の参考とさせていただきます。

◆ IT化の取り組み

アンケート調査の結果、前回の比較でも読み取れるように、IT化の波は町内会・自治会にも確実に押し寄せており、時代の流れとして捉え出来る範囲でIT化の推進に取り組みます。

具体的には、市の地域振興課と補助金申請事務に関する検討を行い、敬老会関係も含めた、申請に関する様式及び記入例の入ったフロッピーを配布、講習会等を通じ活用して戴き、各会の事務合理化に役立つことを期待します。パソコン講習会については今回も参加希望者が八割超あり、開催することとしました。



I T 部会

◆ IT調査部をIT部会へ

十月の連合会役員会で、活動計画に基づき、IT化の推進を図ることを目的に、名称をIT部会と改め活動を行うこととしました。

◆ パソコン講習会

IT部会では、市の教育委員会、市立中学校、小学校のご協力を得て、七地区で一斉にパソコン講習会を実施しました。

参加者は町内会・自治会の役員を対象に百名を超え、一地区で二十名を上回る所もあります。各地区違いはあるが、即役に立つものを希望している向きが多い。この講習会は今期一回、来期二回八時間単位で行うもので、詳細は各地区で定めて開講します。



高尾文化祭

計報

松崎利一氏(草花住宅自治会長)三月二日逝去されました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。